

**1/144 SCALE ZAKU RECON
(MS-06E) ザク強行偵察型**



Z
MOBILE SUIT
GUNDAM
Z
SERIES
15

BANDAI

©創通・サンライズ

注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 接着剤は、閉めきった室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。
- 調飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

●接着するところ



●接着しないところ



●接着剤がつかない様に注意！

●向きに注意

《組み立てる時の注意》

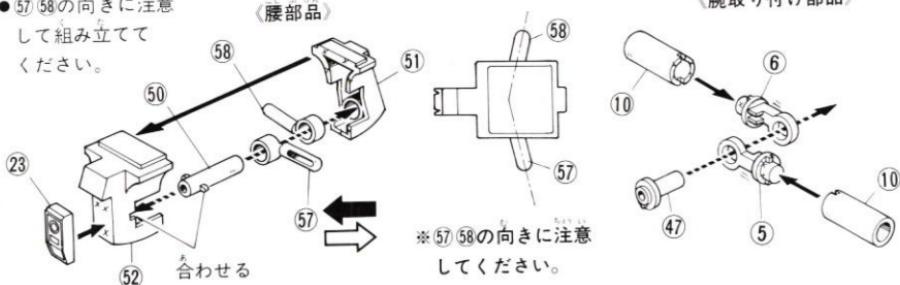
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

このキットには、接着剤は入っておりません。お手数ですがプラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求めください。

1 《腰部品と腕取付部品の組み立て》

- ⑤7 ⑤8 の向きに注意

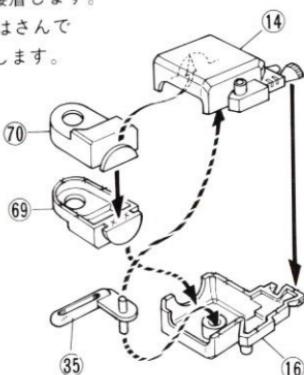
して組み立ててください。



2 《肩の組み立て》

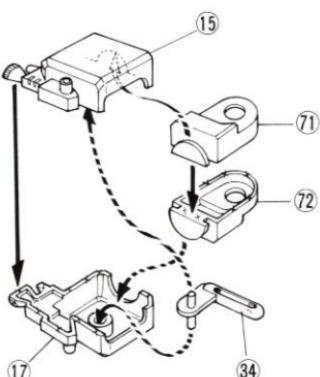
- 先に⑦0を⑥9に接着します。

- (⑥9 ⑦0)と③5をはさんで⑭を⑯に接着します。



- 先に⑦1を⑦2に接着します。

- (⑦1 ⑦2)と⑩5をはさんで、⑮を⑯に接着します。

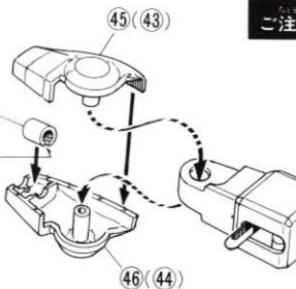


3 《腕の組み立て》

- ④8と肩をはさんで、
④5を④6に、④3を④4に
に接着します。

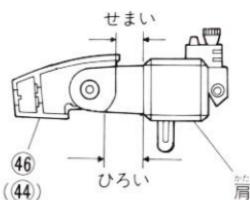
* 2個組み立てて
ください。

* このスキ間を④6の
凸にはめこむ

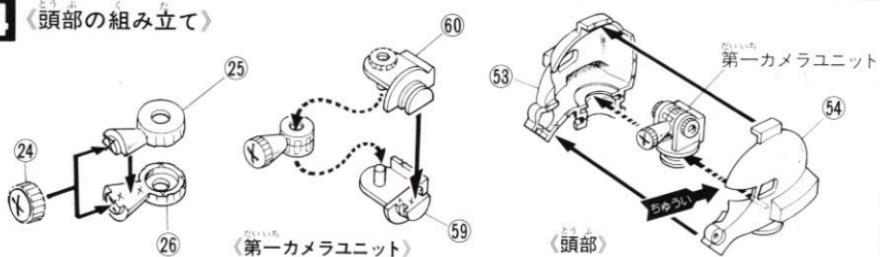


ご注意！

* 肩を④6④4にはめる時は、下の図
のようにはめてください。

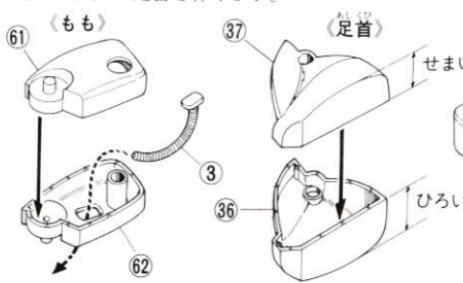


4 《頭部の組み立て》

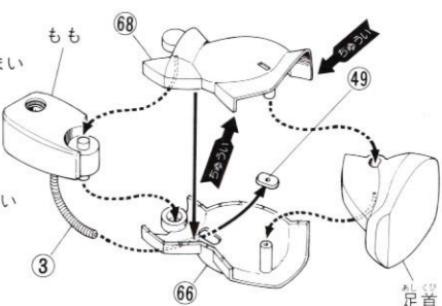


5 《右足の組み立て》

- 先に“もも”と足首を作ります。



- ③を⑥6の穴にとおし、④9に接着します。
- “もも”と足首をはさんで、⑥8を⑥6に接着します。

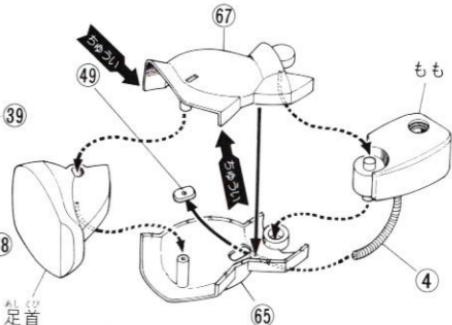


6 《左足の組み立て》

- 先に“もも”と足首を作ります。

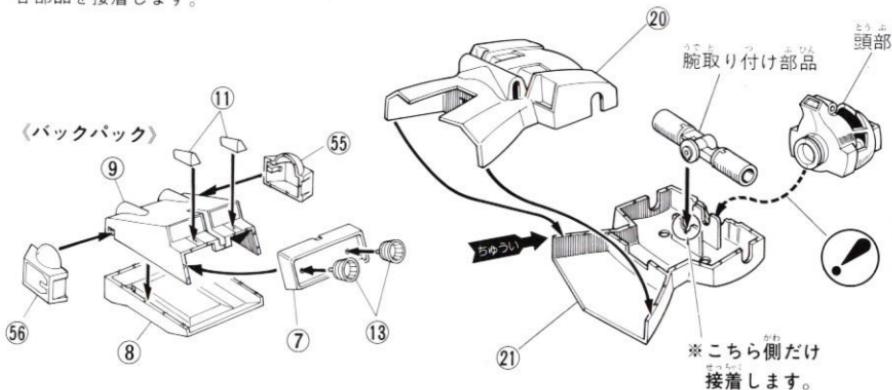


- ④を⑥5の穴にとおし、④9に接着します。
- “もも”と足首をはさんで、⑥7を⑥5に接着します。



7 《バックパックの組み立て》

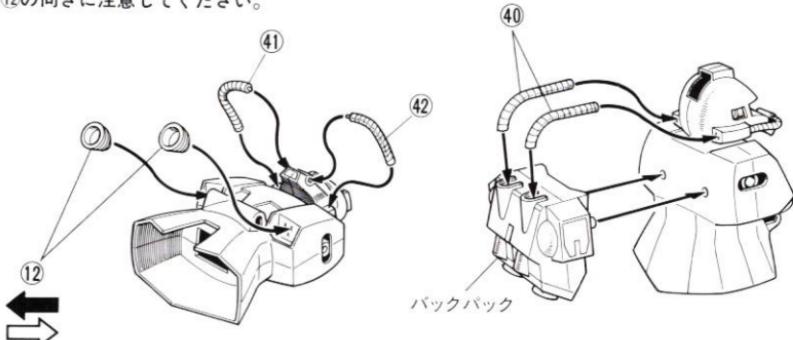
- 頭部を(20)に接着してから、各部品を接着します。



● (20)に腕取り付け部品を接着してから、頭部をはさんで(21)を(20)に接着します。

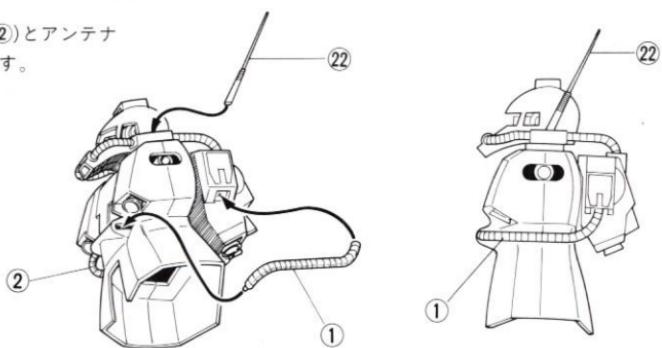
8 《バックパックの取り付け》

- 各部品を接着します。
- ※(12)の向きに注意してください。

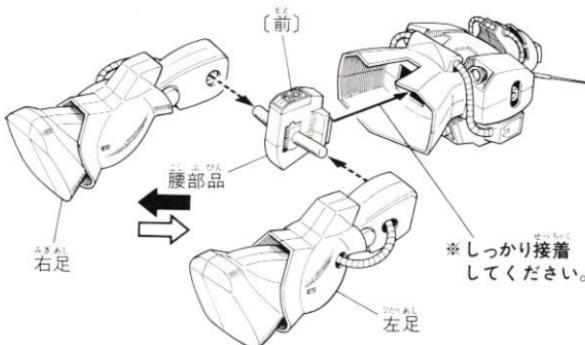


9 《伝導パイプの取り付け》

- 伝導パイプ(①②)とアンテナ(22)を接着します。

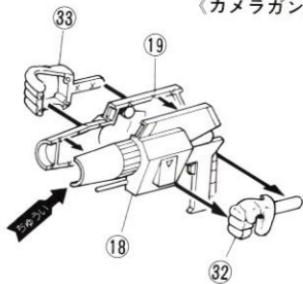


10 〈足の取り付け〉



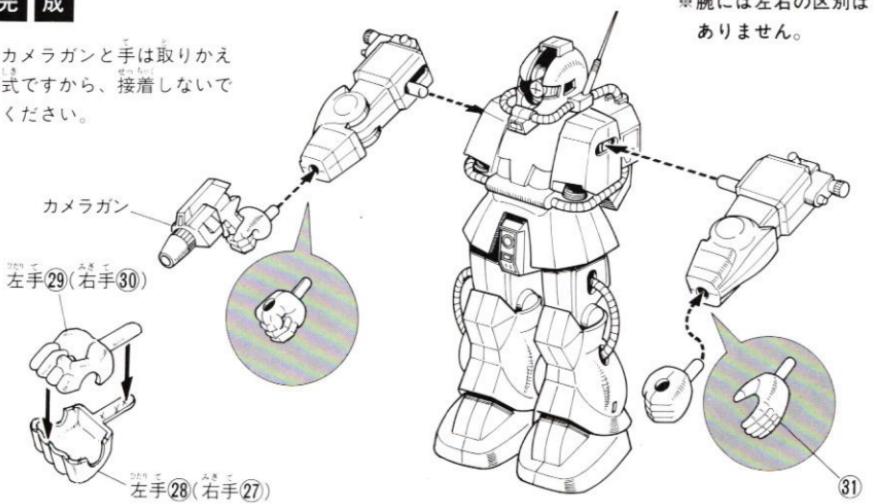
●各部品を接着します。

〈カメラガン〉



完成

- カメラガンと手とは取りかえ式ですから、接着しないでください。



(お買い上げのお客様へ) 万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させて頂きます。また、部品をこわしたり、なくした時は部品通販をご利用ください。代金は、部品代(切り取った1個40円×個数)+郵送料(120円)です。商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記して頂き、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(10円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは http://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html 「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受け付けておりませんので予めご了承ください。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

04494

1/144SCALE 機動戦士Ζガンダム

ザク強行偵察型

必要な部品の番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわしたなくした)

・日中ご連絡可能な電話番号

(- - -)

R1004494

PAINTING GUIDE

★塗装指示や、パッケージのイラストなどを参考に各部を塗装すると、よりリアルに仕上がるでしょう。

■基本色[A]…カーキ

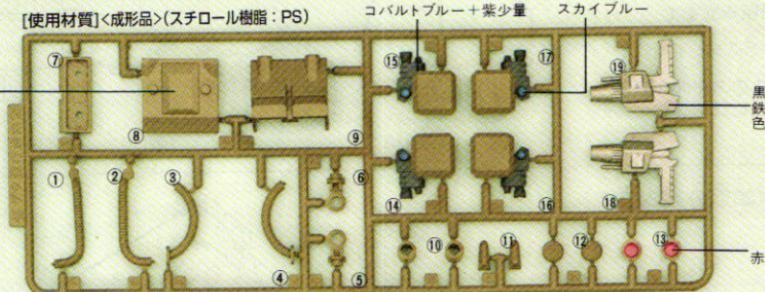
■基本色[B]…ウッドブラウン60%+カーキ30%+艦底色10%

■基本色[C]…ダークグリーン

※色を塗る時は、より安全な
水性塗料
のご使用をおすすめします。

[使用材質]<成形品>(スチロール樹脂:PS)

基本色(A)



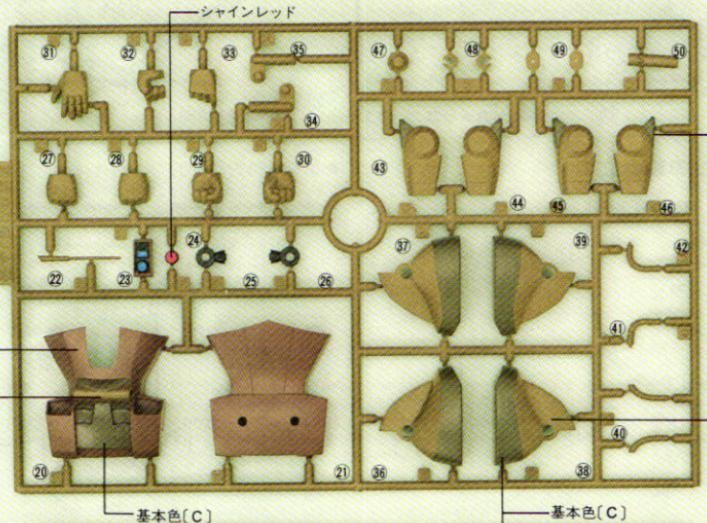
★この塗装ガイドは印刷物のため、指示の色と多少異なる場合もあります。

黒

赤

基本色(C)

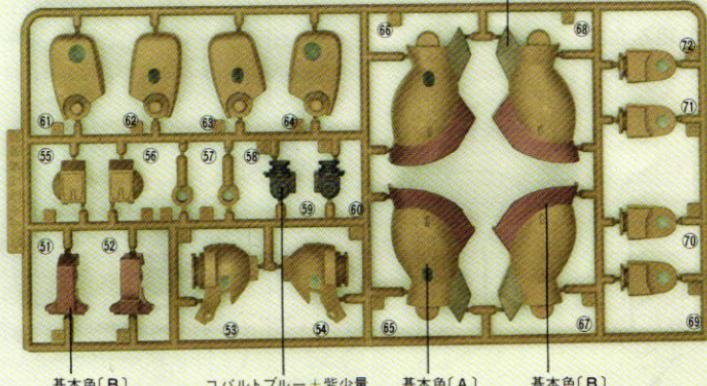
基本色(B)



基本色(A)

基本色(C)

基本色(C)



基本色(B)

コバルトブルー+紫少量

基本色(A)

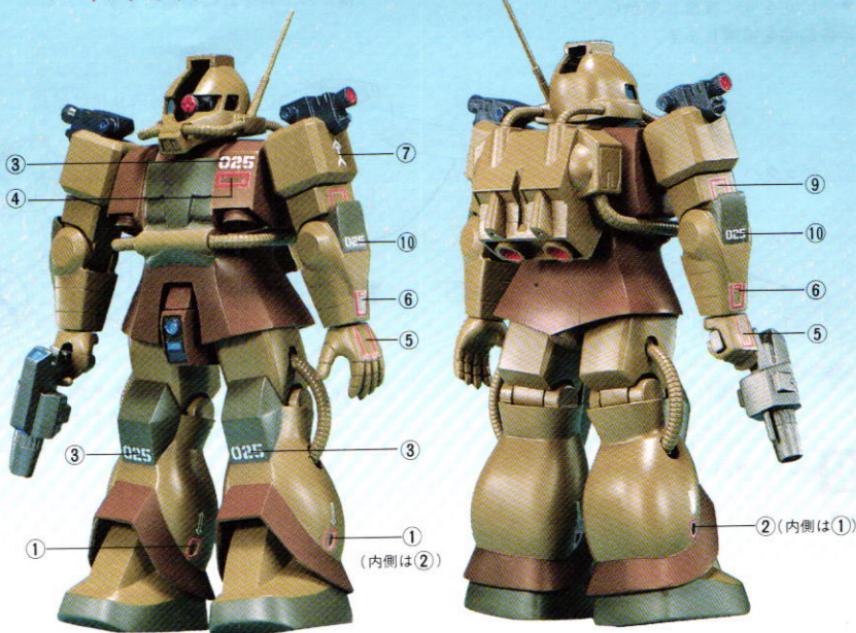
基本色(B)

■デカール(マーク)……1

◆MARKING GUIDE

—マーキングガイド—

★③、④などの数字はデカール(マーク)の番号です。
★指定以外のマークは好きなところにはってください。



▲完成写真

デカールの はりかた

- ①デカールを貼るところの、ほこりや汚れ、油気を、ぬらした布でよくふきとてください。
- ②貼りたいデカールを、ハサミかナイフで切りとります。
- ③貼るところを確かめてから、ぬるま湯に5秒程つけて引き上げタオルなどの上に置きます。あまりながくつけていると、のりが溶けでデカールがつきにくくなりますので注意してください。特に小さい文字などはぬるま湯につけたらすぐ引き上げるぐらいいにしてください。(ピンセットを利用するとよいでしょう)
- ④デカールを台紙からはずしながら貼ってください。(ピンセットを利用するとよいでしょう)
- ⑤指先に少しづめるま湯をつけデカールをぬらしながら正しい位置に貼ってください。
- ⑥やわらかく、よく水気を吸う布でデカールをそっと押え内側の気泡を押し出しながら水分をとります。デカールを貼るところが凹凸している曲面になっているところは蒸しタオルでデカールを押えてください。しわになった時はナイフの先で切れ目を入れてから押えます。
- ⑦貼ったあとはデカールが乾くまでさわらないようにします。
- ⑧デカールが完全に乾いたら、もう一度水でぬらした布でかるくデカールの部分をふいて、余分の水をふきとります。



ZAKU RECON <MS-06E>

■ザク強行偵察型 型式番号 MS-06E

M S - 06の機動力を利用した戦略偵察機として転用されたE型は、特にC型・F型と比べて装甲が薄いというわけでもなく、ユニット化された探知システムを装着した極めてマイナーチェンジの機体と言える。実際問題として簡略化して交換性を高めていたのは、戦闘状態に突入した場合の即時武装化に軍部がこだわったからであった。

しかし試作機のロールアウトした時点ではその意を多少まげて、死角から除々に軽量化が計られ、S型用のロケットエンジンをボップアップした改良型エンジンが設けられた。このE型は外見的にもそれまでのザクとは多少印象が変わり、頭部には大口径の高精度カメラが接近戦用モニターカメラに代わって装備されている。外形は通常の物を使ったが、ガラスシールドは排除され上面に向けての縦ロール化も成されている。また機体内部には燃料スペースが10%増加され、右肩大型シールドと、接近戦用スパイクアーマーははずされていた。

新しく設置されたカメラは両肩に一基ずつ、さらに腰の関節ユニットを前方延長してカメラを収納していた。内装された各種探知システムの他には背部のメインロケットに加え、緊急離脱用のロケットが機体左右胸部に装着された。

M S - 06 E は広範囲の偵察用で一般部隊に存在したが、特殊任務用として機動性と探知システムの性能向上を計ったE - 3 タイプが少数ながら生産された。

『ゼータガンダム』

ゼータガンダムに登場するM S V の第一弾は、ザク強行偵察型である(第10話)。従来のM S V との相違点は、左腕にハイザック用シールドのマウントラックがついたことぐらいである。コクピットはリニアシート方式に改良されている(ハイザックと共通)、手持ちの武器はなく、設定にあるカメラガンを携帯する。

各部の名称

